



「俵山・豊田道路」事業に着手

道路行政を進めるにあたり、市民のみならず、事業者等へのご協力をいただきありがとうございます。
 「俵山・豊田道路」は山陰地方の高規格幹線道路網の一部を形成する道路として、また、広域交流を促進し、地域活性化に貢献する道路として期待されています。

「俵山・豊田道路」は、下関市豊田町八道から長門市俵山小原に至る延長13.9kmの自動車専用道路で、昨年度、計画段階評価を実施し、新規事業採択時評価を経て、平成28年度より事業着手しました。

「俵山・豊田道路」は、事業が進んでいる「長門・俵山道路」と連携することで、災害時の代替路の確保、広域的な観光連携の強化、救急搬送の支援などに寄与することを目的としています。
 現在、道路設計や環境調査などが行われており、今後の事業の進捗が期待されます。
 ■問い合わせ
 都市建設課 TEL 23・1147



▲俵山・豊田道路位置図

一般国道491号は、長門市から下関市を結ぶ主要幹線道路ですが、災害や異常気象時の通行止めにより生活・経済活動に影響があるほか、県北部の重篤患者の第3次救急医療機関への搬送が60分以内に行えないなど、救急医療機関へのアクセスにも課題が残っています。

俵山・豊田道路の整備効果

俵山・豊田道路の整備により、災害時等の代替性が確保され、通行時の安全性が向上することにより、沿線地域や周辺地域に対して、観光面での周遊性の向上、物流面や救急搬送面での信頼性の高いルートの確保等、様々なストック効果が期待されます。

※ストック効果
 道路が整備されることで、その地域の生産性を向上させる効果や、安全性・快適性を高め、衛生環境を改善するなど生活の質を向上させる効果を長期的に生み出すこと

効果1 高速ネットワークで広域観光連携強化

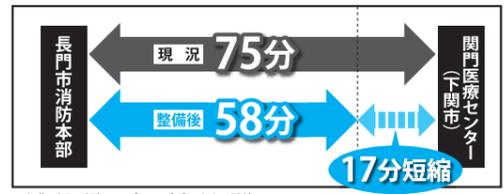
高規格道路の整備により、九州等の周辺地域から主要な観光地への広域周遊観光ルートを形成し、観光地相互の広域的な連携を強化します。



効果2 第3次救急医療機関への速達性向上

高規格道路の整備により第3次救急医療機関への搬送時間が短縮します。

【第3次救急医療機関への所要時間】

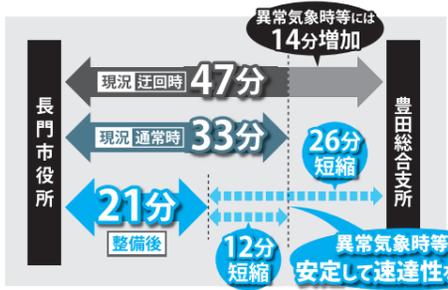


※出典：(現況)H26プローブデータより計算
 (整備後)現道は規制速度、長門・俵山道路及び俵山・豊田道路はV=80km/hとして計算

- 世界遺産
- 主要観光施設
- 事業中区分
- ○ ○ 調査中区分

効果3 災害時の迂回解消

俵山・豊田道路の整備により、災害時でも代替となる道路が確保されます。
 また、交通の高速化が図られ、利便性向上による都市間連携の強化につながります。



※出典：(現況)H26プローブデータより計算
 (整備後)現道は規制速度、長門・俵山道路及び俵山・豊田道路はV=80km/hとして計算

